

令和2年第4回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和2年4月8日(水)
午後3時～午後3時43分
2. 開催場所 柏原市教育委員会 会議室
3. 出席した委員
教 育 長 新 子 寿 一
教 育 長 職 務 代 理 山 崎 裕 行
委 員 田 中 保 和
委 員 近 藤 温 子
委 員 西 村 弥 生 子
4. 出席した職員
教 育 監 岡 本 泰 典
健 康 福 祉 部 長 石 橋 敬 三
次 長 兼 教 育 総 務 課 長 寺 川 款
文 化 財 課 長 石 田 成 年
指 導 課 長 石 田 智
事 務 局 教 育 総 務 課 栗 田 聖 子
5. 議事案件
議案第15号 柏原市教育委員会事務局職員人事の承認について

議案第16号 柏原市鳥坂寺跡整備検討委員会委員の委嘱について

議案第17号 令和2年度柏原市いじめ問題対応委員会の委員任命について

議案第18号 令和2年度柏原市障がい児就学支援委員会の委員委嘱について

議案第19号 令和2年度柏原市奨学生選考委員会の委員委嘱について

議案第20号 令和2年度柏原市学力向上対策委員会の委員任命について

議案第21号 令和2年度柏原市立小・中学校教科用図書選定委員の委嘱について

議案第22号 柏原市立小学校・中学校教科用図書選定委員会に対する諮問について

議案第 23 号 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表内容について

6. 報告事項

7. 会議録の承認及び会議の要旨

新子教育長： 令和2年第4回定例教育委員会会議を開会いたします。本日の会議録署名委員は近藤委員でございます。本日の案件は9件でございます。まず初めに議案第15号につきまして、事務局寺川次長より説明をお願いします。

寺川次長： 教育総務課よりご説明いたします。議案書の1ページをお開き願います。議案第15号柏原市教育委員会事務局職員人事の承認についてでございます。教育委員会事務局職員課長級以上の異動につきましては、議案書2ページの名簿の通りでございます。よろしくご審議ご承認お願いいたします。なお、その他の職員につきましては、3ページの参考資料の通りでございます。

新子教育長： 少し目を通していただきまして、ご確認をお願いいたします。何かご質問ありませんか。

委員全員： なし。

新子教育長： それでは、議案第15号につきまして、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員： 異議なし。

新子教育長： 議案第15号柏原市教育委員会事務局職員人事の承認については、原案どおり承認することといたします。それでは、続いて、議案第16号について、事務局石田文化財課長より説明をお願いします。

石田課長： 4ページをご覧ください。議案第16号柏原市鳥坂寺跡整備検討委員会委員の委嘱についてでございます。令和2年度、令和3年度の柏原市鳥坂寺跡整備検討委員会委員について、次のとおり委嘱します。委嘱年月日は令和2年4月1日付、委嘱の期間は、令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間でございます。委嘱する委員につきましては、5ページの委員名簿（案）のとおりでございます。以上、ご審議よろしく願います。

新子教育長： 今、ご説明をいただきました。ご質問等ございましたら、願います。

委員全員： なし。

新子教育長： ないようでございますので、議案第16号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員： （異議なし）

新子教育長： それでは、議案第16号柏原市鳥坂寺跡整備検討委員会委員の委嘱については、原案どおり承認することにいたします。次に、議案第17号について、事務局石田指導課長より説明をお願いします。

石田課長： 議案第17号令和2年度柏原市いじめ問題対応委員会の委員任命について、指導課よりご説明申し上げます。柏原市いじめ問題対応委員会は、柏原市の小学校及び中学校におけるいじめ防止のための対策に関する基本的な方針や、いじめに対する適切な措置に関することを調査する教育委員会の附属機関で、今年度もご示唆をいただきたいと考えております。柏原市いじめ問題対応委員会条例第3条2項により7ページの方々に任命したいと考えております。ご審議よろしくお願いたします。

新子教育長： 委員会の委員名簿をご一読いただきまして、何かご質問ございましたら、お願いたします。

西村委員： 任命と委嘱というのは、違うんですか。議案名が任命になっていて、年月日は委嘱になっているので。

石田課長： はい、確認させていただきます。委嘱状を出させていただいておりますので。

新子教育長： それをちょっと確認させていただいて。その他はよろしいでしょうか。それでは、確認の上、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員： (異議なし)

新子教育長： 議案第17号令和2年度柏原市いじめ問題対応委員会の委員任命については、原案どおり承認することにいたします。確認の方は、よろしくお願いたします。続きまして、議案第18号について、石田指導課長より説明をお願いたします。

石田課長： 議案第18号令和2年度柏原市障がい児就学支援委員会の委員委嘱について、指導課よりご説明申し上げます。9ページでは未定となっていたもの等がございましたが、その後決定した方々を加え、本日机上に差替えの名簿を置かせていただいております。柏原市障がい児就学支援委員会は、障がいのある児童生徒に対する介助員の配置や就学相談を主に調査審議を行う場でございます。柏原市障がい児就学支援委員会規則第3条2項により、別紙名簿の方々に委嘱したいと考えております。ご審議よろしくお願いたします。

新子教育長： 名簿の方、差替えがあると思います。

寺川次長： 委嘱と任命の違いでございますけれども、たとえば石田課長等については、任命となります。大学の教授等につきましては、委嘱となります。混ざっている場合は委嘱並びに任命についてとなりますが、議案書については、不適切な表現となっているところ、差替えをさせていただきたいと思ます。

新子教育長： ご質問等ございましたらお願いたします。

委員全員： なし。

新子教育長： ないようでございますので、議案第18号について、原案どおり、一部確認の上、承認してよろしいでしょうか。

委員全員： (異議なし)

新子教育長： 議案第18号令和2年度柏原市障がい児就学支援委員会の委員委嘱については、原案どおり承認することにいたします。次に、議案第19号について、石田指導課長より説明をお願いたします。

石田課長： 議案第19号令和2年度柏原市奨学生選考委員会の委員委嘱について、指導課

よりご説明申し上げます。奨学生選考委員会とは、就学の希望があるにもかかわらず、経済的理由のために高等学校等の就学が困難な者に対して奨学金を貸与することを目的とし、その適切な選考のための場で、今年度も審査をしていただきたいと考えております。柏原市奨学金規則第6条により、11ページの方々を委嘱したいと考えております。ご審議よろしくお願ひいたします。

新子教育長： 名簿のご確認をよろしくお願ひいたします。例年、少なくなっていっていませんね。進学に対する補助が大きくなりましたので、随分と少なくなってきました。ご質問等、よろしいでしょうか。

委員全員： なし。

新子教育長： それでは議案第19号令和2年度柏原市奨学生選考委員会の委員委嘱については、原案どおり承認することにいたします。引き続き、議案第20号について、石田指導課長よりよろしくお願ひします。

石田課長： 議案第20号令和2年度柏原市学力向上対策委員会の委員任命について指導課よりご説明申し上げます。なお13ページでは校長会后決定としていましたが、この度決定しましたので、本日差し替えたものを机上に置かせていただいております。柏原市学力向上対策委員会は、柏原市の小学校及び中学校に就学する児童・生徒の学力向上についての調査審議を行う場で、今年度もご示唆をいただきたいと考えております。柏原市学力向上対策委員会規則第2条2項により別紙名簿の方々を任命したいと考えております。ご審議よろしくお願ひいたします。

新子教育長： 差替えがございいますが、ご質問等ございいますか。

委員全員： なし。

新子教育長： それでは、議案第20号令和2年度柏原市学力向上対策委員会の委員任命については、原案どおり承認することにいたします。続きまして、議案第21号について、石田指導課長より説明をお願ひします。

石田課長： 議案第21号令和2年度柏原市立小・中学校教科用図書選定委員の委嘱について、指導課よりご説明申し上げます。令和2年度は令和3年度使用中学校教科用図書の採択の年となっております。柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会規則第2条2項により、15ページの名簿の方々に委嘱したいと考えております。なお、選定委員のお名前についてですが、平成2年3月20日付、文部科学省の「教科書採択の在り方の改善」の通知にありますように、採択の公平性確保の観点から採択終了後の公表とさせていただきます。ご審議よろしくお願ひいたします。

新子教育長： ご質問等、よろしいでしょうか。

委員全員： なし。

新子教育長： それでは、議案第21号について、原案どおり承認及び選定委員の氏名等は、採択終了後の公表としてよろしいですか。

委員全員： (異議なし)

新子教育長： それでは、議案第21号令和2年度柏原市立小・中学校教科用図書選定委員の委嘱については、原案どおり承認及び選定委員の氏名等につきましては、採択終了後の

公表とすることにいたします。続きまして、議案第22号について、石田指導課長より説明をお願いします。

石田課長： 議案第22号柏原市立小学校・中学校教科用図書選定委員会に対する諮問について、指導課より説明いたします。柏原市教育委員会から教科用図書選定委員会に対する諮問案が17ページでございます。諮問事項は「令和3年度使用の柏原市中学校教科用図書の適正な採択を行うための選定について」で、理由につきましては、令和3年度使用教科書の採択について、教育委員会の判断と責任により、適切に行われる必要があります。したがって、綿密な調査研究に基づき、適正かつ公正な教科書採択が行われるよう意見を伺うものとしております。ご審議よろしく願いいたします。

新子教育長： いかがでしょうか。ご質問等ございましたら。

田中委員： 表記の問題なんですけど、これは、小学校も入るんですか。

石田課長： 選定委員会自体は、小学校・中学校教科用図書の選定委員会という名前なんですけど、採択は中学校だけでございます。

田中委員： その前の案件は、中学校の選定委員でいいのですね。小・中学校の委員会の中の中学校の選定委員を選定して、今回諮問するのは、小・中の委員会へ諮問するということですね。

石田課長： はい。

田中委員： はい、わかりました。

新子教育長： その他よろしいでしょうか。

委員： なし。

新子教育長： ないようでございますので、議案第22号について、原案どおり承認してよろしいですか。

委員全員： （異議なし）

新子教育長： それでは、議案第22号柏原市立小学校・中学校教科用図書選定委員会に対する諮問については、原案どおり承認することにいたします。最後に、議案第23号について、石田指導課長より説明をお願いします。

石田課長： 議案第23号令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表内容について、指導課よりご説明申し上げます。別添の冊子をご覧ください。目次をとばしまして、まず1ページには調査の概要、調査学校数・児童生徒数、そして体力テスト種目と体力要素について記載しております。なお、この調査は小学校5年生及び中学校2年生の男女が対象となっております。次に2ページをご覧ください。まず本年度の全国との比較になります。右端にございますT得点とは全国平均を50とした指標になります。小学5年生は男女ともに8種目すべてが全国を下回りましたが、女子は半分の種目で大阪府を上回っております。中学2年生については、男子では1種目、女子では3種目が全国を上回り、大阪府と比較しますと、男女ともに半数以上は上回っております。課題としましては、小学5年生男子が全体的に低いことと、20mシャトルランについては、他の種目より低い傾向が昨年度と同様にあり、全身持久力をもっとつけなければならないことがわかります。3ページは昨年度との比較になります。全32項目中

9項目が昨年度を上回っておりますが、反対に言いますと、23項目が昨年度より下回っているということになります。学年で見ますと小学5年生女子は昨年度に近いT得点であり、中学2年生女子は昨年度に続き全国に近い数値となっております。また50m走は小学5年生男子を除いて、昨年度と同値以上となっているのはよかった点でございますが、長座体前屈については全て昨年度より悪い結果でした。4ページは3年前との比較です。つまり同一児童生徒の経年比較ということになります。太字色つきの箇所は3年前を上回っているもので、男子で8項目中4項目、女子では8項目中5項目で3年前より成長が見られ、T得点も男女ともに2%以上向上しております。そのことはグラフで右側が上がっていることから一目瞭然であり、今回の調査で最も良い点であると言えます。課題としましては、男女ともに握力と長座体前屈が5年生次より下がっていることが挙げられます。5ページは体力合計点のこの5年間の経年比較になります。体力合計点とは、8種目の体力テストの成績を1点から10点に得点化して総和したのになります。

この3年はやや下降傾向で、やはり本年度の小学5年生男子は大きく今までより落ち込んでいることがわかります。6ページは用語解説と説明で、7ページからは小学校に関する調査の詳細になります。この後は特徴的なものに絞ってご説明します。まず7ページの体格集計からは、5年生男子の肥満度がやや高くなっている傾向が見えます。続く8ページでは、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が男女ともに昨年度より減少しているのは良かったのですが、全国と比べるとまだ割合が高いと言えます。次の9ページを見ますと、右下の総合評価から、男子はAとB評価が少なく、D評価が全国より8.5%も高く、今回の結果で最も全国との開きがあった学年ということがここからも見て取れます。次は児童質問紙集計になっております。まず11ページですが、Q1「運動やスポーツをすることが好きですか」という問いにおいては、課題のあった男子も肯定的回答の割合はそれほど全国や府と変わりませんでした。14ページQ8のテレビやゲーム機、スマートフォンなどの画面を見ている時間については男女ともに全国及び府より長いことがわかります。15ページQ11においては、体育の授業が楽しいと感じている生徒はやや少ないことが見て取れますが、Q12を見ますと、授業での運動量は多く、Q13からは教員がめあてやねらいがきちんと示して授業を行っていることがわかります。しかしQ14の回答からは、授業後の振り返りは不十分であるように感じます。その他18ページのQ18から20ページQ26にかけての肯定的回答が少ない傾向からは、身体を動かすことや新しいことにチャレンジするような主体性が弱いことも見えてきます。22ページからは中学校になります。22ページの体格集計からは、2年生女子の肥満度にやや上昇が見えます。続く23ページの1週間の総運動時間では、60分未満の割合は男女ともに昨年度より下がっただけでなく、全国よりも少ない割合になっており、部活動に盛んに取り組んでいることに起因しているのではと思われます。26ページからの生徒質問紙集計では、まずQ1「運動やスポーツをすることが好きですか」という問いにおいて、小学校とは反対に肯定的回答が高い傾向があります。次の27ページQ2からは、「できた」という実感が「楽しい」という思いに繋がっ

ていることが見え、達成感を得ることがモチベーションに良い影響を与えていることがわかります。28ページQ5見ますと、総運動時間の良好な結果と運動部活動への加入率の高さには相関関係があるように思えます。30ページのQ9では、小学校と同じくテレビやゲーム機、スマートフォンなどの画面を見ている時間は男女ともに全国より長いことが分かり、市全体の課題だと言えます。34ページQ18では、まだ十分なICT整備が整っていない中、教員が既存の機器を工夫をして授業を行っていることが見て取れます。また36ページQ24やQ25において肯定的回答が多いことから、ものごとに対してあきらめず頑張る姿勢が感じられます。最後の児童生徒の体力・運動能力向上にむけた方策につきまして、37ページにある4つの視点から取り組みます。特に3の「部活動の推進」では、市の方針に基づき、生徒や教員の適切な休養日を確保しながら、生徒の内発的動機を触発する指導ができるよう学校に働きかけて参ります。また4にありますように、学校だけでなく、PTAや地域諸団体、部活動補助指導員などと連携をしていきながら、様々な場面での子どもたちの運動を促進していきたいと考えております。といいますのも、子どもたちの体力や運動能力の向上に大事なことはその習慣づくりです。それを子どもたちに関わるいろいろな側面から、身体を動かすことの楽しさや、スポーツの良さなどを感じさせるよう取り組むことによって、運動が身近にある習慣を築くことができると考えております。説明は以上でございます。ご審議よろしくお願いたします。

新子教育長： 令和元年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表内容について、報告がありました。何かご質問ございますか。

田中委員： 14ページのQ8ですけれども、スマートフォン等の画面を見ている時間ですが、このグラフでいうと、短い方が柏原市が多くなっているのですが、さきほどの説明と逆になっているのではないのでしょうか。

石田課長： 長時間している子ども達が多い。

田中委員： 少ないんじゃないですか、このグラフでいくと。1.5時間以上の短いのが多くて、後ろの6.1時間未満とかが少ない。

教育監： 違うんです、すみません。1.5時間以上ではなくて、1番が5時間以上なんです。

田中委員： 1番が5時間。そうですか、わかりました。1.5時間ではないんですね。

山崎委員： 1番とか2番とかいらんんじゃないか、まぎらわしいですね。

新子教育長： 今、ご指摘のあったナンバーのところを、次から考えてください。

石田課長： わかりました。

新子教育長： 他、何かありませんか。

山崎委員： 目次が大変わかりやすい目次なんです。保護者や市民の皆さんが見たら、調査の概要があって、2つ目に小学校に関する調査の結果があって、3つ目に中学校、4つ目に方策と、こういう流れだなとわかるんですけど、実際、中に入って見ていくと、1調査の概要というのが出てこないでしょう。次に、6ページに入ると用語解説と説明となっていますが、ここはまず2小学校に関する調査の結果というのが入ってくるんで

しょう。中学校もそうなんですよね。中学校も入っていないので、わかりにくいんです。これは小学校かな、中学校かなと思いながら見ていくというのがあります。ということで、目次に合わせて中身も合わせていったらどうかなというのが意見であります。もう一点、前回、学校園の評価報告をいただいたのですが、体力、運動能力というのと、学力というのが関連しているという、前から言われていることなんですけど、ぜひとも体力や運動能力も運動習慣もつけてほしいんですが、いったい、幼稚園、小学校、中学校でどのくらい取り組んでくださっているのかを、見てみました。今は、コロナの問題があって、非常に難しいことだと思いますけども、一段落したら、体力や運動能力、運動習慣も学校でぜひやってほしいと思います。ざっと私が見た限りでは、幼稚園で一園だけ、体を動かすことの楽しさを味わう体験を多くするというのがありました。ぜひ、幼稚園では、運動が好き、体を動かすことが好きというこどもを作ってほしいなと思います、就学

前に。それから、中学校の場合は、プロの体育の先生がいらっしゃるのと、運動部活動が非常に熱心でありますので、そういう意味では、中学校はできていると思うんですが、私の経験からいきますと、小学校でぜひ、体力、運動能力をつけるということをやってほしいと思います。ひとつには、全教科を持っている先生が、体育の授業に関心を持っていただいて、体育の時間をしっかりやるということをや、進めてほしいと思います。もうひとつは、学校として、たとえば休憩時間ですとか、朝の時間であるとか、放課後の時間であるとかを使って、たとえば学校の運動場に体力サーキットを作るとか、そんなことをやっている学校もあって、昔はやっていたわけですね、ぜひ、何らかの取り組みをしていただきたいなと思います。特に小学校の中でやってほしいんですが、私がこれを見せていただいた中でいうと、どこの小学校もやっておりませんでした。ぜひ、やってほしいなということと、逆に、ある小学校で評議員の方から、学校で体を動かす楽しさを伝えてほしいということがあがってきましたと書いてあります。評議員からこんなことを言われているのなら、ぜひとも体を動かす楽しさを、学校でやらせてあげてほしいと。学校づくりの一つとして、こういうことにも取り組んでもらいたい。それが、学力と関係してくるということになれば、なおさらのことだろうと思います。ぜひ、指導課長からも校長会等で、幼稚園の園長先生に、また、小学校の校長先生方に体力、運動能力、運動習慣をつけてやる取り組みをお願いをしたいということも、コロナが収まれば、ぜひ、お願いをしたいなと思いました。

新子教育長： それでは、ご指摘がありましたところをしっかりと合わせていくところもよろしくお願ひします。その他、ご質問はありませんか。

近藤委員： 7ページなんですけど、体格集計で、女子の方が市区町村となっているところが、3カ所、これを柏原市に修正してください。それから質問事項の生徒達の回答が中学校は、生徒達が運動に対して前向きなことが非常に喜ばしいなと思うんですが、先生方が上手にご指導なさっているんだなと思います。そういうノウハウを小学校の先生に伝えていただくようお願いいたします。

新子教育長： その他、いかがでしょうか。

田中委員： 5ページのところで、5ページだけではないんですけども、小学校5年の男子が低い、このグラフを見ていてもわかる、特にこの小学校5年の男子が低い原因はわかっているのですか。考えられることがあれば、教えていただけたらと思うのですが。

石田課長： 特に5年生が何か大きな課題ということは、私どもはつかんでいないのですが、小学校には教員も指導主事もいますので、学年によって、パターンが随分違うというのは聞いております。また、この結果を発表する時に校長に傾向が、思いあたることがあるのかどうか確認してまいりたいと思います。

田中委員： それともう一つ、前のページ、3年前と比較したものがありますね、4ページ。これは、全体的に上がっているということなのですが、この向上している点についても分析できたら、また、他にも活かせると思うので、考えられることがあればお聞かせいただきたい、それか、まだこれからなのか。

石田課長： 中学校では、部活動が非常に盛んになっている、特に運動部の加入率が高いということがございます。そういうところに喜びを感じているということもありましたので、一定、そういう意欲というものが、モチベーションにつながり、結果につながっているのではという推測でございます。

田中委員： 中学校の部活動が一定効果があるということですね。

石田課長： 一定の効果があるということが、この意識調査からも見えるという風に思いました。

新子教育長： その他、よろしいでしょうか。

西村委員： お伺いしたいのが、最後の方策のところ、「子ども元気アッププロジェクト」というのは、具体的にどういうことをやっているのか教えていただきたいと思います。

石田課長： 府の事業で、運動の促進をはかった事業でございます。いろいろな競技、小学校であればドッジボールであるとか、競技に特化して学校の中でチームを作って、スポーツの楽しさを伝える取組みとして補助しているような事業です。

新子教育長： 他、よろしいでしょうか。それでは、議案第23号について、原案を一部修正して承認してよろしいでしょうか。

委員全員： （異議なし）

新子教育長： それでは、議案第23号令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表内容については、一部修正の上、承認することにいたします。本日の議事案件は以上でございます。

（教育総務課から主要事業計画について報告あり）

（健康福祉部からこども政策課のパブリックコメントについて報告あり）

以上で、第4回定例教育委員会会議を閉会いたします。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

柏原市教育委員